

今立総合支所建設基本構想・基本計画に関するパブリック・コメント結果

案件名	今立総合支所建設基本構想・基本計画									
趣旨	新しい庁舎の建設をきっかけにして、まちを再生し、次の世代につなげていくためにも、基本構想の策定過程において市民のみなさんから広く意見をお聞きすることが目的です。									
意見提出者数	8人									
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	合計
	男性					4	1		3	8
	女性									
	不明									
合計					4	1		3	8	
意見の内容	以下のとおり (掲載されていないご意見につきましては、今立総合支所建設基本構想・基本計画に関する内容ではないので、省略させていただきます。)									
意見への回答	今回いただいたご意見については、ご意見を取りまとめ整理した上で第5回今立総合支所建設市民検討委員会へ提示しました。									

N o.	年齢性別	該当する箇所	ご意見の要旨 (原文)	越前市の回答
1		4.複合施設が備えるべき機能	図書館分室 Ex.鯖江 tetote 電車・バス待ち時間の暇つぶし、学習、小規模ミーティング等用途は豊富。	複合施設が備えるべき機能として多目的ホールや会議スペース、子育て交流スペース、バス待合室などを想定しました。また、周辺施設との連携を図ることとし、図書館についても基本設計の中で連携に取り組みます(p37-39)
2	60男	4.複合施設が備えるべき機能	新庁舎の建設にあたって望むこと ①原発や地震などの災害時の防災機能充実 例・緊急時の電力確保のため自家用発電設備を整える ・M7.0でも絶えられる耐震設計の建物にする ②情報発信機能の充実 例・観光客のために観光地へのアクセス方法を知らせる電光板を常設し、ボタンひとつで必要な情報を入手できるシステム (観光協会を本庁者に設置) ・郷土の歴史や伝統を知ることのできる書籍や資料の案内(図書館で貸し出し) ③百年、二百年と続く耐久性に優れた木のぬくもりの感じるヒトと環境にやさしい建築	①構造については、基本設計にて検討します。また、「防災拠点施設機能」については、「8複合施設の機能と規模について(p36.37)」の中で述べさせていただきました。 ②情報発信機能について、Wifi環境の整備や、伝統工芸品の展示等を想定し(p35.36)、掲示板などの具体的な方法については基本設計・実施設計の中で検討します。 ③構造については、基本設計の中で検討しますが、伝統文化・学習のキーワードからその具体的な方策として、地場産木材を用い、温かみのある木質空間を想定しています。(p24)

3	男	4.複合施設が備えるべき機能	<p>Ⅱ. 今立総合支所に関して</p> <p>①「人が集まる公園のような憩いの場」というコンセプトは賛成です。今立地区はお隣の鯖江市の河和田の漆器とともに、越前和紙、味真野の打ち刃物など歴史を感じさせる宝がいっぱいです。自然が豊かで静かな町を残してほしいと思います。そのためにも大きな支所は要らないと考えます。建物は木造(最近では木造で3階建以上も可能とは聞いています)で、まちに自然と溶け込んでいるようなものであって欲しいです。</p> <p>②人が集まり、癒されて憩える、そのためにも水と緑と多くの植生(花壇)が欲しいです。花壇の管理はボランティアさんをお願いしてはいかがでしょうか。(花の種、肥料等は市で負担)</p> <p>③駐車場は、建物のすぐ近くには置かず道路に面した箇所にのみ配置する。車より集まってくる人を大事にしましょう。(障がい者の方への配慮は必要です)</p> <p>④支所内に観光案内所はいらない。なぜなら、総合支所は今立地区のほぼ中央であり、ここから観光が始まることはなく、観光客が立寄る機会は少ないと判断できます。道路に面して鯖江市、池田町を含めた観光案内板を設置することでよいと考えます。また、伝統工芸の紹介コーナーは産地にあってこそではないでしょうか。</p>	<p>①構造については、基本設計の中で検討しますが、伝統文化・学習のキーワードからその具体的な方策として、地場産木材を用い、温かみのある木質空間を想定しています。(p24)</p> <p>②イメージコンセプトである「人が集まる公園のような憩いの場」とするため、交流広場を憩いの公園などと想定しています。管理や運営については基本設計等の中で検討します。</p> <p>③駐車場の配置については基本設計の中で検討しますが、既存施設との連携を図るため人の移動のしやすさが考慮された、一体的な整備を目指します。(p34.35)</p> <p>④観光案内について、案内所ではなく、交流の場として「観光・情報発信機能」を整備します。(p36.37)</p>
4	60男	4.複合施設が備えるべき機能	<p>わたしは障がい者です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎はバリアフリーを追求してください。 ・障がい者トイレはユニバーサルデザインで。 ・点字ブロック ・エレベーターも欲しい。 ・段差は弱視者に配慮したものを。 ・トイレには音声ガイドを。 	<p>複合施設の基本的な整備方針の柱の一つである、「すべての人と地球環境にやさしい複合施設」として、ユニバーサルデザインに努めます。</p>
5	60男	その他	<p>本庁者と今立支所2ヶ所建設する必要はない。どこかに1ヶ所とすべきだ。</p> <p>人件費も事務機械設備も二重になり無駄なことだ。行政改革、構造改革に反していると思う。</p> <p>なぜこんなことがわからないのか。奈良市長は何を考えているのか。</p>	<p>新庁舎については、旧武生と今立、二つの生活拠点に集積されたインフラと機能を維持活用しながらその継承と創造的再生を図るため、都市拠点機能を支える本庁舎を現在地に建設するとともに、まちづくりの前提となる安全・安心な「まち」を目指すため、2度の豪雨災害に見舞われた市東部地区の拠点となる今立総合支所を改築して存続し、防災・コミュニティ等の機能を有する複合施設として拡充整備を図ることとしました。</p>
6	70男	その他	<p>栗田部の住民ですが、寂れていく栗田部町におもえてなりません。本庁舎建設も今立総合支所建設も立派に建設し、活性化し、住民が明るく、元気に生活できるようになってほしいと思います。企業誘致や少子化対策に積極的に取り組んでいただき、住みたい越前市を目指してください。</p>	<p>新庁舎建設の基本理念を「まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする」と定め、その実現に向けた庁舎建設に取り組めます。</p>
7	60男	その他	<p>少子高齢化が加速化している本市、少なくとも10年後の越前市の人々の生活がスムーズに、かつ負担が出来るだけ少なくなるように、公平に整備されることを望みます。</p> <p>まず、本庁舎は車の便を第一に、駐車スペースを充分いってもらいたい。</p> <p>平成の大合併の主旨を踏まえ、建物・職員の人口減を考慮し、交通手段の変遷発達を考えたなら、今立総合支所とか白山や味真野の支所などはいつの時代の発想でしょうか？病氣や高齢で自分で動けない人は連絡すれば自室や地区の公民館で処理できるように簡略化すべき。地理的なことに因</p>	<p>今立総合支所については、2度の豪雨災害に見舞われた市東部地区の拠点として改築し、防災・コミュニティ等の機能を有する複合施設として拡充整備を図ることとしました。</p>

			<p>りすぎではないでしょうか。 将来の若者の負担にならないよう大きな視野から建設してください。</p>	
8	男	1. 複合施設の基本理念・整備方針	<p>活性化は主役である人づくりにあると思いますが、議論に参加している人がどれだけ居られるのでしょうか。関心がないということで済まされてしまわないでしょうか心配です。 このままですと、一定の施設が出来上がってもそこに人は集まってこないのではないかと危惧します。もっと利用される人達の意見を聞けるよう、例えば各種団体などの意見を求める時間と仕掛けが必要だと思います。将来誰が利用するか、誰が施設を管理運営するかが大事だと思うからです。そういった議論はどこでしているのでしょうか。</p>	<p>基本構想・基本計画の策定にあたり、市民フォーラムをはじめ、パブリック・コメントの実施や市民説明会、市政出前講座を開催し、延べ495名の参加をいただきました。今後、基本設計にあたり市民ワークショップを開催するなど意見を求めていきたいと考えています。</p>
		3. 複合施設周辺の方向性イメージ	<p>総合支所周辺を一体的に整備するイメージ図が案として示されていますが、どう見ても三つのゾーンが連携、連動して利用できる広場には見えません。それぞれのゾーンごとの利用を考えておられるようですが、コンセプトからすると少しかけ離れているように思います。また、中央部にあります個人住宅などがよく分かるように図示しないと誤解されます。将来の理想的なゾーン形成を考えるなら、まちづくりについて協議会を立ち上げもっと広域に時間をかけて検討することが必要だと思います。</p>	<p>複合施設の基本理念を具現化するために施設周辺エリアのまちづくりの方向性について検討しました。(p21-26)その将来の目指すべき姿を実現させるためには、「地区計画」や「まちづくり協定」の締結などの行政手続きとともに、中長期的な時間軸の中で住民と一体となった取組みが必要であると考えます。 配置計画の詳細については、今後の基本設計・実施設計の中で決定します。</p>
		4. 複合施設が備えるべき機能	<p>現時点で施設利用者が定着している既存施設、図書館、歴史民俗資料館、芸術館、ふれあいプラザ、周辺の粟田部体育館などの課題整理はどうされているのでしょうか。 その課題解決の受け皿として複合施設の構成を考えているのかどうかよく分かりません。また、整備エリア外の粟田部体育館のようにその施設の将来は複合施設の議論には含まれていませんし、人が集う施設としての観光・情報施設機能は最も必要だと思いますが、その受け皿(組織)は見えてきません。 重要な施設として、防災拠点施設としての位置づけもあるようですが、周辺エリアにヘリポートなどのイメージはありませんし、どのくらいの規模の防災拠点かわかりません。</p>	<p>基本構想・基本計画では耐震性に課題のある、ふれあいプラザ、もくせい会館を取り壊し、ふれあいプラザ跡地に建設し、今立図書館、歴史民俗資料館、いまだて芸術館との連携に取組みます。(p27.28) 防災機能としては、現地対策本部として必要な面積の確保として100m²を想定しました。また、屋外に設置する交流広場は発災時の防災広場として活用することを想定しています。(p35-38)</p>
		その他	<p>合併特例債の今立総合支所複合施設への配分はどれくらいあるのかわかりませんが、夢を描いて要望を申し上げて実現可能かどうか心配です。 説明会でまちづくり交付金の活用を考えておられると回答されましたが、合併特例債の期限後にも継続してまちづくり交付金が保証され、イメージコンセプトにある憩いの場構築が叶うのならその目指す姿をお示しいただきたいと思います。</p>	<p>事業における財源について、「財源計画」で述べさせていただきました。(p41) また、イメージコンセプトの実現に向けた取組みとして、複合施設を含めた周辺整備について合併特例債の発行期限までに取り組む予定です。</p>